

SAP ジャパン / 日本 HP

異機種 IT 環境の効率的な連携と ITIL 準拠の運用管理の実現に向けた取組みを開始

SAP ジャパンと日本ヒューレット・パカード (日本 HP) は、2003年11月に締結された本社間での契約を受け、日本においても異なる IT 環境の連携とそれに伴うシステムの効率的運用管理を実現するための協業を強化していくことを発表した。今回の両社の協業は、HP と SAP の 15 年にわたる良好な提携関係を土台に、企業が抱えるこのような IT 関連の重要課題を解決できるように支援していくものである。今回の協業強化により、両社は、HP のアダプティブ・エンタープライズ (適応型企業) 戦略と SAP のアダプティブ・ビジネス・サービス戦略が提供する必要なツール群と手法を組み合わせ、顧客企業内の異なる IT 環境全体をより効果的に構築、管理し、適応型ビジネスが実現できるよう顧客企業を支援していく。

また、本取組みにおいては、SAP のオープンな統合アプリケーション・プラットフォーム「SAP NetWeaver」を用いて SAP および他社製アプリケーションの連携を実現し、業界標準の IT インフラストラクチャ・ライブラリ (ITIL) をモデルとした HP の IT サービス管理リファレンス・モデル (ITSM) を基準とした運用管理環境を構築することで、企業内および企業間における人、ビジネス・プロセス、技術面での統合を促進していく。

<SAP ジャパン:webmaster.tyo@sap.com / 日本 HP : 03-5304-6660 >

アライドテレシス

IPv6 における事業戦略を発表

アライドテレシスは、今後3年間にわたる同社の重点戦略として、IPv6 に対する経営・開発資源の投入を強化していくことを発表した。同社は、2001年より製品の IPv6 対応を進めており、現在ではスイッチ/ルーターのほとんどの製品が IPv6 のサポートを完了している。また、2001年3月には「CentreCOM 8948XL」を発表し、IPv6 のルーティング (経路制御) をハードウェア上で高速に行える高コストパフォーマンス製品の投入により、IPv6 対応を進める ISP (インターネットサービスプロバイダー)、地方自治体、医療機関などから注目されている。

アライドテレシスでは、さらに以下の取組みの実施と目標の設定を行い、日

本における IPv6 推進のリーディングベンダーを目指していく。

- ・2007年までに IPv6 関連製品の国内売上を 300 億円まで増やす
- ・「CenterCOM8948XL IPv6 トライアルキャンペーン」を実施し、8948XL 本体電源ファン、IPv6 アクセラレーターボードをセットした「CenterCOM8948XL IPv6 スターターキット」を標準価格の 46% Off で提供
- ・高性能・低価格製品開発のために今後3年間、開発費 70% を IPv6 対応製品の開発に投入
- ・2004年中に IPv6 ハードウェアルーティング、10ギガビットイーサネットに対応した「CenterCOM9900シリーズ」を投入 < TEL : 03-5437-6042 >

沖電気工業

64 ビットコンピューティング対応の AMD Opteron 搭載ラックマウント型サーバ「if Server DL585 シリーズ」を発表

沖電気工業は、IA サーバ「if Server (アイエフ・サーバ) シリーズ」に、32 ビットおよび 64 ビットのコンピューティングに同時に対応する、AMD Opteron プロセッサを搭載したラックマウント型サーバ「if Server DL585 シリーズ」を企業向けサーバ製品のラインナップに追加した (出荷は 6 月下旬から)。

「if Server DL585 シリーズ」は、AMD Opteron プロセッサ 800 シリーズを最大 4 基搭載可能な、高さ 4U のラックマウント型サーバで、最大 64GB まで搭載

可能な 2-Way インターリーブ PC2100 DDR メモリや 8 本の 64 ビット PCI-X I/O スロットを搭載し、将来にわたるスケールアップの要求に応える拡張性を実現している。同製品に採用されている AMD Opteron プロセッサは、64 ビット拡張テクノロジーを搭載した x86 プロセッサで、既存の 32 ビット・アプリケーションの動作を保証し、ユーザーの既存の投資を保護することができる。また、将来の 64 ビット・コンピューティングへの移行にも容易に対応することができる。 < TEL : 0120-490-988 >

マクニカネットワークス

動的コンテンツ・アクセラレータの最新バージョン 「SpiderCache v4.0」を発表

マクニカネットワークスは、米国ワーブソリューションズ社製の動的コンテンツ・アクセラレータ(ダイナミック・コンテンツ・アクセラレータ)の最新バージョン「SpiderCache v4.0」の販売を開始した。米国ワーブソリューションズ社のダイナミック・コンテンツ・アクセラレータは、動的コンテンツ・動的ページを独自のアーキテクチャでキャッシングして、表示速度を最大100倍程度まで高速化し、アプリケーション/データベースサーバの負荷を最大80~90%軽減してパフォーマンスを向上させるWeb高速化アプリケーション製品である。今回発表された製品は、「WARP 2063e」の機能を強化し、「WARP 2063e」の筐体に「SpiderCache v4.0」を搭載したアプリケーションである。

またSpiderCache v4.0は、クラスタ化された環境もしくはサイト内でグループ化して利用することができるので、企業は各サイトのアプリケーションサーバの前に最低1台の「SpiderCache v4.0」を配置することで、親機がそれぞれの子機のロケーションを管理するような親-子構成を組むことができる。この構成により、リモートオフィスの子機のサーバレスポンスや帯域使用率の軽減を実現することができる。さらに、搭載されている複数の機能を利用することで、アプリケーション・デリバリー・ネットワーク(ADN)の構成要素として展開することも可能である。

< TEL : 045-476-1960 >

アシスト

『ここからはじめよう! Cognos ReportNet 操作ガイド』を発売

Webブラウザからデータの自由検索や定型検索を行える「Cognos ReportNet」の販売代理店として、同製品の販売、サポートを行っているアシストは、同製品の開発元Cognos Incorporatedの日本法人であるコグノス社の監修のもと、Cognos ReportNetのエンドユーザー向けのマニュアル『ここからはじめよう! Cognos ReportNet操作ガイド』(出版: コンピュータ・エージェンシー)を発売した。

Cognos ReportNetは、企業内情報の迅速かつ自由な活用を実現するツールである。アシストでは、これまで同製品のユーザー向けに教育コースの定期開催やオンサイトでの教育サービスを提供してきたが、そのノウハウをわかり

やすい書籍としてまとめることで、より多くの顧客を支援でき、またCognos ReportNetの拡販につながるものと判断し、今回の発売に至った。『ここからはじめよう! Cognos ReportNet操作ガイド』は、Cognos ReportNetをこれから使い始めるユーザーを対象に、全12章の構成になっている。第1章では、Cognos ReportNetの概要や使用する用語について、2章以降では、実際に使用する画面を参照しながら、データ検索、基本レポートの作成、より複雑なレポートの作成などの操作方法が段階的かつ確実に学べるようになっていく。価格は2,100円(税込)、本書に関する問い合わせは、アシスト教育センター(TEL: 043-297-2714)へ。 < TEL : 03-3437-4540 >

日本BEA システムズ

SOAの実現をテーマに「BEA eWorld Japan 2004」を6月に開催

日本BEAシステムズは、SOA(サービス指向アーキテクチャ)実現をメイン・テーマに、先進企業ITの中核をなす最新のBEA製品とテクノロジー、ユーザー事例を多数を紹介するコンファレンス『BEA eWorld Japan 2004』(BEA eWorld Japan 2004)を、6月17、18の両日、都内のセルリアンタワー東急ホテルで開催する。

『BEA eWorld Japan 2004』では、IT投資効果を高めると期待されるSOAがビジネスにどのような影響を及ぼすかについて、事例やSOA戦略、製品、ソリューションなどにより紹介される。初日は、Java/J2EEに携わるエンジニアだけでなく、あらゆるIT関連のエン

지니어に、オープンスタンダードに基づいたテクノロジーを中心に構成。2日目は、ビジネス向けの内容で構成されており、経営企画、情報戦略、営業開発などの各部門の責任者や担当者にSOAが企業にもたらす影響とビジネス価値が紹介される。

『BEA eWorld Japan 2004』の概要

- ・開催日時: 6月17日(木) 18日(金) 10:00 ~ 18:00
- ・会場: セルリアンタワー東急ホテル
(東京都渋谷区桜丘町26 1)
- ・主催: 日本BEAシステムズ株式会社
- ・参加料: 無料(事前登録制) <http://www.eworld.jp/>
- ・お問い合わせ先: 03-5768-3527
BEA eWorld Japan 2004 出展社事務局
(10:00 ~ 18:00 土・日祝日を除く)